

離島の振興を促進するための観音寺市における産業の振興に関する計画

平成 30 年 4 月 1 日作成

香川県観音寺市

1. 計画策定の趣旨

(1) 伊吹島の概況

伊吹島は平成 27 年現在、人口 400 人、面積 1.01 km²の有人島である。香川県、愛媛県の県境に近く、燧灘の東部、観音寺港から西方約 10 km の海上にある。気候は瀬戸内式気候であり、年平均気温は約 16℃と温暖で、年間雨量は約 1,000mm と少なく、冬期の積雪、降霜はほとんど見られない。地形は、安山岩、花崗岩及び集塊岩からなる台状の島である。台地には平地が開けており、最高地点は標高 121.5m であり、島の周囲は急傾斜の崖が海岸に屹立し、人家は島の南から北にかけての鞍部に密集している。

本地域は、明治 23 年の町村制実施により観音寺町に属したが、その後、昭和 24 年に分離して伊吹村となり、昭和 31 年に再び観音寺市に合併し現在に至っている。大正 3 年の航路運航開始以来、観音寺港へ就航（一時豊浜港へも就航）していることなどから、観音寺市本土との関連が深い。

本地域の人口は、平成 22 年から平成 27 年の 5 年間で、32.2%の減少となっており、また平成 27 年の高齢化率が 52.3%、独居老人世帯が 79 世帯と、過疎化、高齢化が著しい。

【現 況】

島 名	離島指定年月日	人口	世帯数	面積
伊吹島	昭和 32 年 8 月 14 日	400 人	211 世帯	1.01km ²

※人口及び世帯数は平成 27 年国勢調査結果

【人口の推移】

島 名	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	H27/H22
伊吹島	1,020 人	793 人	590 人	400 人	67.8%

※各年の国勢調査結果

(2) 産業構造及び雇用動向

本地域の平成 27 年の産業別就業者人口は、第 1 次産業 41 人 28.9%、第 2 次産業 52 人 36.6%、第 3 次産業 30 人 21.1%と第 1 次産業及び第 2 次産業の比率が高い。

第 1 次産業については、大半が漁業であり、煮干イワシの原材料となるカタ

クチイワシの水揚げがその大部分を占める。その他、ヒラメ、サワラ、シャコ等の漁獲量が多い。

第2次産業については、水産加工業（煮干イワシ製造業）がほとんどを占めており、本島の基幹産業となっている。

第3次産業は、商業では、商店が4店と大幅に減少しており、いずれも小規模である。宿泊業では、旅館と民宿がそれぞれ1軒ずつ営業している。

本地域での雇用は、煮干イワシ製造にかかる漁業及び水産加工業が大多数を占めている。

【産業分類別就業者率】

島名	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能
伊吹島	28.9%	36.6%	21.1%	13.4%

※平成27年国勢調査結果

(3) 今後の見込み、将来ビジョン、目指している方向性等

本地域の最大の産業である、イワシ産業（漁獲から加工、販売まで）の推進を多角的に再検討し、流通の効率化や新たな製品の開発及び施設の整備に努め、新たな雇用の確保を生み出す。

2. 計画の対象とする地区

離島振興法に基づく離島振興対策実施地域として指定されている観音寺市の伊吹島を対象とする。

3. 計画期間

平成30年4月1日～平成35年3月31日

4. 対象地区の産業の振興の基本的方針

(1) 産業の現状と産業振興を図る上での課題

①煮干イワシ製造にかかる漁業及び水産加工業について、高齢化や人口減少に伴う後継者不足が課題である。また、煮干イワシの製造は夏季を中心とした季節産業であるため、繁忙期には雇用が集中するが、休漁期は島での仕事が少なく本土で他の仕事に従事する者が多いため、閑散期における新たな産業の育成と島内での安定的な雇用の創出も課題である。

②美しい自然景観や伝統文化、瀬戸内国際芸術祭を契機としたアート等を取り入れた観光資源の開発を促すとともに、釣り船や海釣り施設の整備及び旅館、民宿等の宿泊施設の近代化が必要である。

また、本土側及び島側の双方に島製品の販売所を設置するとともに、「伊吹

いりこ」などを用いた特産品の販売促進やインターネット等を通じた通信販売システムの充実を促進することも検討する必要がある。

5. 産業の振興の対象とする事業が属する業種

「製造業」、「旅館業」、「農林水産物等販売業」「情報サービス業等」

6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関連団体等との役割分担

(1) 観音寺市：租税特別措置の活用の促進

(2) 香川県：租税特別措置の活用の促進

(3) 漁業団体との連携

平成 23 年 9 月に地域団体商標登録した「伊吹いりこ」のブランド化を確立し、煮干イワシの水産加工業の振興をより一層図るため、加工設備等の充実を推進するとともに、全国に向けた情報発信の拡充と積極的な販売促進活動を実施する。また、「伊吹いりこ」などを用いた新たな水産加工製品の開発や郷土料理の商品化について調査・研究するなど、新たな特産品づくりを住民及び漁業団体と連携して推進し、水産業閑散期の産業育成及び雇用の創出について、官民一体となって取り組む。

7. 計画の目標

業種	新規設備投資件数	設備投資に伴う雇用者数
製造業	2	5
農林水産物等販売業	1	2
旅館業	1	2
情報サービス業等	1	2